

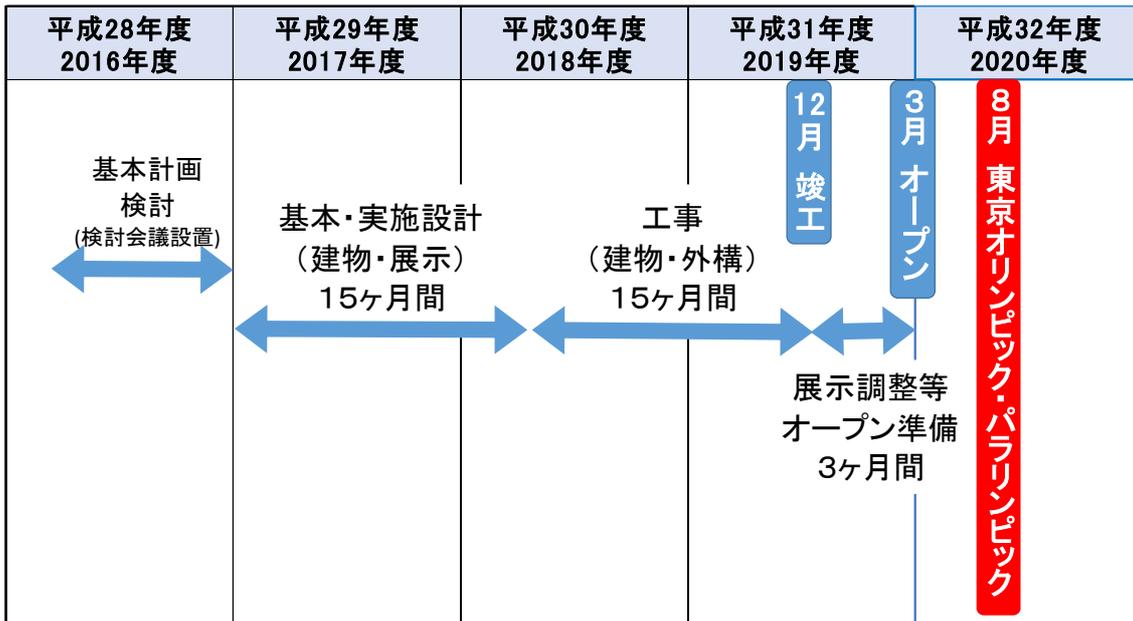
# 第6章

事業推進計画

# 1 整備スケジュール

(仮称)マンガの聖地としまミュージアムの整備スケジュールとしては、平成29年度(2017年度)に建物及び展示の設計を行い、平成30年度(2018年度)に建物の建設工事に着手します。展示品等の調整期間を経て、平成32年(2020年)3月にオープンします。

平成32年(2020年)に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて整備を推進することにより、外国人観光客を含む多くの来街者を南長崎地域に迎える施設や体制を構築し、「マンガの聖地としま」を広く世界に向けて発信していきます。



## 2 今後の検討課題

---

平成 32 年（2020 年）3 月の開館やその後の運営に向けて、以下に示す項目を検討し、必要な設備や体制を実現していきます。

### （1）施設に関すること

#### ①建築基本設計・実施設計、建築工事

1 階のレイアウトや別棟の配置を含め、具体的な建築プランや構造の検討、外観再現の手法、ユニバーサルデザインの導入等について検討を行います。さらに、施設全体の建築工事を行い、トキワ荘の外観及び再現展示に関わる諸室について当時の姿を復元します。

加えて、トキワ荘周辺の屋外空間における再現や整備、現在、24 時間開園している公園との区画の設置や運用方法等について、公園所管部門や地域住民との協議を行い検討します。

#### ②展示基本設計・実施設計、展示製作

常設展示については、展示テーマに沿った展示シナリオの作成、展示ケースや什器・備品・設備等の設計を行います。さらに、展示製作として、常設展示室を中心とする展示演出（造作、展示照明、展示備品）を行うほか、映像やグラフィックの制作、著作権処理等の作業を行います。

再現展示については、再現する居室の復元図の作成（一部は基礎調査で作成済み）、居室再現に関する関係者との調整等を行います。さらに、展示製作として、再現展示に使用する備品を購入・製作し、居室を再現します。

企画展示については、想定される展示内容をもとに、展示ケースや什器、設備等の設計を行います。

回遊情報コーナー、ミュージアムショップ、飲食・休憩スペースについては、情報発信や備品等の設計を行います。さらに、展示製作として映像情報システム・コンテンツの制作、著作権処理等の作業を行います。

## (2) 運営に関すること

### ①運営計画

開館形態（休館日や開館時間）、人員配置、入館料等、施設の管理運営に対して求められる要素を検討した上で、その実現を効果的に図ることのできる運営方式（直営／業務委託／指定管理者制度）を決定します。開館に向けた具体的な作業を効率的に推進するため、早い段階での決定を目指します。

### ②事業計画

事業活動を展開する上で必要な人件費や経費の算出、入館者数や事業収入の予測を行い、事業計画を作成します。また、寄付金制度を活用した寄付募集についても、検討していきます。

さらに、開館後の年間計画を策定し、開館記念イベントや企画展・イベント等の準備に着手します。

### ③運営方式

運営計画、事業計画を踏まえ、効果的に実現できる運営方式（直営／業務委託／指定管理者制度）を決定します。

また、「マンガの聖地としま！モニュメント」事業と連携し、地域を巡るガイドツアーの開催等、地域と連携した活動展開の具体的な仕組みを検討します。

### ④開館に向けた事業活動の展開

#### ・調査・研究

常設展示の実現に必要な調査・研究を行います。また、トキワ荘に関わるデータベースの構築を行います。

#### ・資料収集

常設展示の実現に必要な資料収集を進めます。また、資料収集方針に基づく資料収集を推進します。

#### ・多言語化対応

展示解説やガイドツアーにおける多言語化対応の仕組み（翻訳、情報提供手法等）を具体的に検討します。